

授業科目名	国語科指導法 (2100239)		
時間割名	国語科指導法 (11110)		
時間割担当	岡本恵太		
実施期	前期	単位数	2 必修
曜日・時限	月・1		

■授業の目標・概要

小学校国語科教育に関する理論的な基礎知識とその実践的展開力を養うことを主な目的とする。まず国語科教育の歴史と変遷について学び、学習指導要領に示された国語科教育の内容と方法を正しく理解することができるようにする。さらに「読むこと」「書くこと」「話すこと」「言語事項」（書写を含む）の授業展開事例を具体的に学び、教材開発と教材研究に取り組む。最終的には自ら学習指導案を作成し、模擬授業を行うことによって実践力を高め、授業づくりについての自分の考えをまとめられるようにする。

■学習の到達目標

①国語科教育の意義と役割、②目標と内容、③学習指導計画・教材研究・指導方法と評価の基本について認識を深める。さらに、音声言語、読解、文章作成、語彙などについて指導法の理解を深め、学習指導計画を立てて模擬授業をするなど実践的力をつける。

■授業方法・形式

1. 学習指導要領と関連して各章毎の内容を要約していく。
2. 具体的指導について小学校教材や参考図書を参照し、実践的に調べる。
3. 教育課題に広く学んでいく。

■授業計画

- 第1回 国語科教育の目標と内容
各学年の国語科教育の目標と内容の関係を踏まえ、学習指導要領のポイントについて学ぶ。
- 第2回 学習指導要領に基づいた学習指導計画
学習指導計画の作成上の配慮事項や端厳指導計画、学習指導案の作成について学ぶ。
- 第3回 国語科の指導法と評価
学習指導の方法について理解し、学習指導過程に即した評価のあり方について学ぶ。
- 第4回 話すこと・聞くこと
「話すこと・聞くこと」の確かな力を育成するための指導の工夫について学ぶ。
- 第5回 書くこと
「書くこと」の確かな力を育成するための指導の工夫について学ぶ。
- 第6回 読むこと―説明文教材の指導―
説明文教材を「読むこと」を通して確かな力を育成するための指導の工夫について学ぶ。
- 第7回 読むこと―文学教材の指導―
文学教材を「読むこと」を通して確かな力を育成するための指導の工夫について学ぶ。
- 第8回 読書指導
読書指導の年間指導計画作成、読書を促す学習指導のあり方について学ぶ。
- 第9回 伝統的言語文化の指導 伝統的言語文化が国語科に取り入れられた経緯や意義について学ぶ。
- 第10回 国語の特質に関する指導（言語事項）
言葉の特徴・文字に関する指導について、学年系列に従って具体的に学ぶ。

■成績評価の基準

【授業計画続き】

- 第11回 国語の特質に関する指導（書写）
書写として行う硬筆・毛筆の指導のあり方を学年系列に従って学ぶ。
- 第12回 言語活動の充実について
確かな言葉の力をつける言語活動を充実させる具体的工夫について学ぶ。
- 第13回 模擬授業演習（1）
実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。低学年
- 第14回 模擬授業演習（2）
実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。高学年
- 第15回 授業の総括として、これまで身につけたことについてまとめる。

【成績評価の基準】

毎回の授業中に行う小レポートと毎回の課題レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックしていく（30%）。さらに、模擬授業に対する取り組み、学習指導案の作成の緻密さなどを評価する（30%）。さらに学期末テストにおいて総合的な理解を確認する（40%）。

■準備学習・復習及び授

1. テキストを読み、疑問については熟読したり調べたりして解決する。
2. 小学校教科書を読み、教材について認識を深める。

■履修上のアドバイス及

資料の予備配布は行わないため、欠席した学生は、次回講義までに各自対応しておく。

■教材・教科書

『ケースから学ぶ 言葉による見方・考え方を育てる授業づくり』（株式会社ERPERPブックレット）

■参考書

学習指導要領解説 国語編 小学校教科書，国語科指導実践集など